

# 住宅用壁掛トイレFD [UWU] 設置条件チェックシート (詳細版)

TOTO

現場名

様邸

記入者

## ■ご購入前に

お客様のトイレに「住宅用壁掛トイレFD」が設置可能か事前に確認してください。

### ■事前確認の流れ

1	2	3	4	5	6
トイレの設置寸法	トイレの窓位置寸	床・壁の補強	給水位置	排水位置	電気位置

### 【イメージ確認用AR起動】



フローティングデザインでも、  
強度は十分。

キャビネット内に便器の取付スタンドを設置。  
スタンドで便器をしっかり固定しているため、  
便器が床から浮いていても安心です。

※便器本体の使用上限体重は、224kg (2.2kN)です。



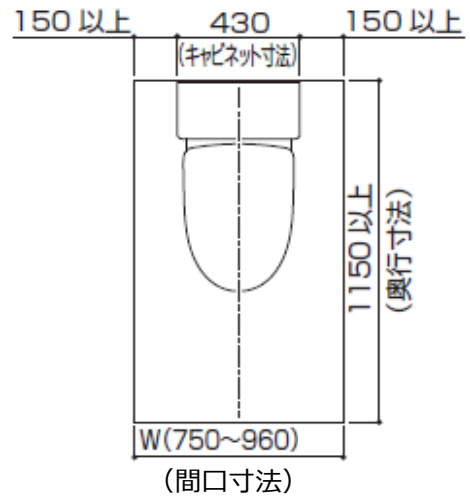
## 1.トイレの設置寸法

### ■記入欄

①奥行き： \_\_\_\_\_ mm  
許容範囲：1150mm以上（壁補強後の仕上げ面から）

②間口： \_\_\_\_\_ mm  
許容範囲：  
・戸建(木軸構造)の場合：750～960mm  
961～1240mmは補強条件による  
・マンション（軽量鉄骨LGS構造）の場合：750～960mm

許容範囲を外れる場合は設置不可



## 2.トイレの窓位置寸法

窓枠の位置を確認ください。

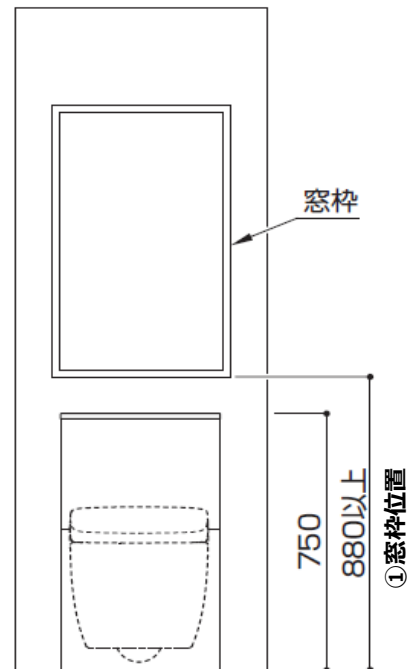
### ■記入欄

後壁窓： \_\_\_\_\_ 有 無

■有の場合下記もご確認ください。

①窓枠位置：床 ~ \_\_\_\_\_ mm  
許容範囲：880mm以上

許容範囲を外れる場合は設置不可



### 3.床・壁の補強

#### ・戸建(木軸構造)の場合

床の補強確認ください。

根太は、高さ45mm×幅36mm以上のものを。ピッチ303mm以下で入れてください。

また、束などによる支持を、ピッチ910mm以下で入れてください。

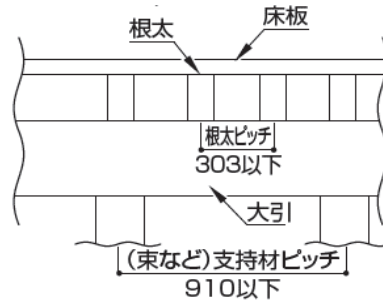
##### ■記入欄

木造床： 有

合板（t 12mm以上） 有

根太（H45mm×W36mm以上） 有

根太ピッチ： \_\_\_\_\_ mm 許容範囲303mm以下



壁の補強確認ください。

##### ■記入欄 (チェック項目)

- 横壁の壁材は石膏ボード（9.5mm）相当以上であること
- 横壁に扉が付く場合でも、後ろ壁から400mmは壁があること
- 木材や建築部材が腐食などで強度不足でないこと
- 後壁と横壁が、受木や隅柱などを介し連結されていること
- 便器後壁の隅柱、間柱、受木は（奥行き89mm×幅38mm以上）であること
- 便器横壁の間柱、受木は（奥行き45mm×幅36mm以上）であること
- 受木と間柱、間柱間のピッチは455mm以下であること

壁掛け便器を安全に固定するために、上記を必ず満たしてください。

##### ■補強の準備情報

###### 間口：750～960mmの場合

- 後壁に構造用合板（t 12mm）を設置する。

###### 間口：961～1240mmの場合

- 下記どちらかの構造用合板を設置する
  - ・ t 12mm以上の構造用合板（J A S規格品）2枚重ね

### 3.床・壁の補強 つづき

#### ・マンション（軽量鉄骨LGS構造）の場合

壁の補強確認ください。

##### ■ 記入欄（チェック項目）

- 横壁の壁材は石膏ボード（9.5mm）相当以上であること
- 横壁に扉が付く場合でも、後ろ壁から400mmは壁があること

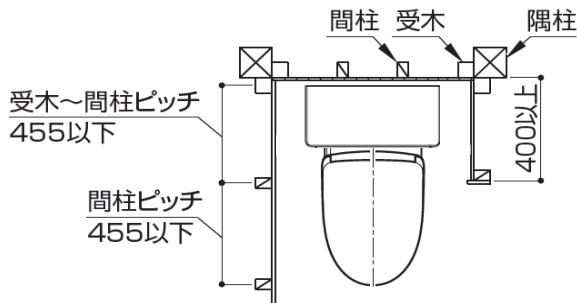
壁掛け便器を安全に固定するために、上記を必ず満たしてください。

##### ■ 補強の準備情報

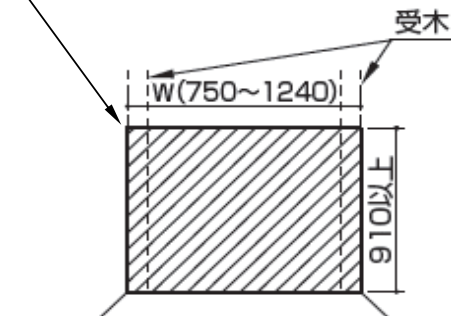
- 後壁に構造用合板（t 12mm以上）を設置する
- 図の位置に、横さん（高さ210×奥行36mm以上）を設置する

#### 壁の補強確認内容。

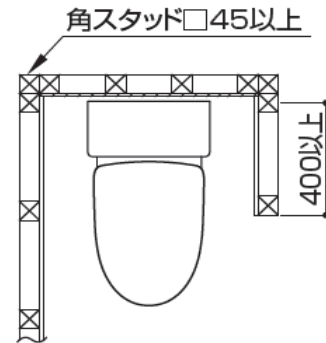
・戸建(木軸構造)の場合



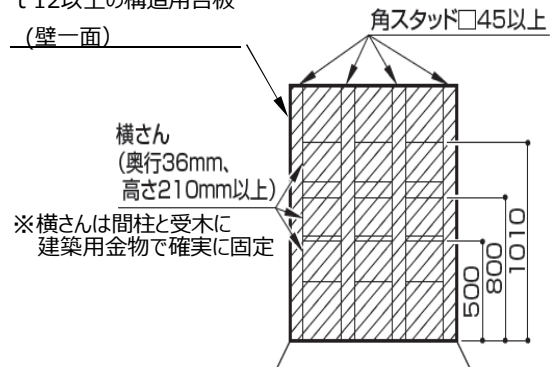
間口750～960 : t 12以上の構造用合板  
 間口961～1240 : t 12以上の構造用合板2枚重ね、  
 もしくは、t 24以上の構造用合板



・マンション(軽量鉄骨LGS構造)の場合



t 12以上の構造用合板  
 (壁一面) 角スタッド□45以上



#### 4.給水位置

給水の位置を確認ください。

※止水栓は、キャビネット内に隠蔽させますのでガイド位置にない場合は移動が必要です。

##### ■記入欄

床・壁の給水位置は下図になります。

##### □床給水

幅 : \_\_\_\_\_ mm 許容範囲  $110 \pm 10$ mm

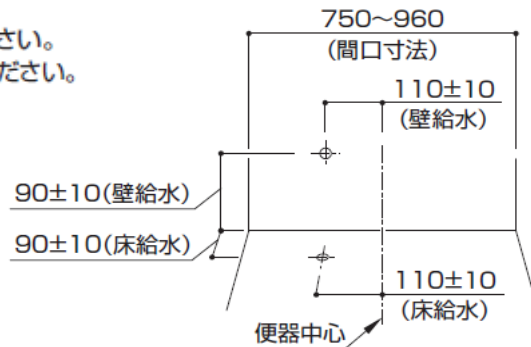
奥行き : \_\_\_\_\_ mm 許容範囲  $90 \pm 10$ mm

##### □壁給水

幅 : \_\_\_\_\_ mm 許容範囲  $110 \pm 10$ mm

奥行き : \_\_\_\_\_ mm 許容範囲  $90 \pm 10$ mm

- ・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・図の位置に給水管(Rc1/2)の中心があることをご確認ください。
- ・幅木と干渉する場合、幅木をカットしてください。



※壁補強後の仕上げ面を基準にした寸法を示しています。

## 5.排水位置

排水の位置を確認ください。

### ■ 記入欄

#### □ 床排水 排水心200mmの場合

床排水位置は、後壁から200mmの位置になる

□ 奥行き： \_\_\_\_\_ mm 許容範囲200±10mm

□ 排水管（VP・VU75）は床仕上げ面と同一面で立上げ

#### □ 床排水 排水心120mmの場合

床排水位置は、後壁から120mmの位置になる

□ 奥行き： \_\_\_\_\_ mm 許容範囲120±10mm

□ 床仕上げ面から60±5mmで立上げ

#### □ 壁排水の場合

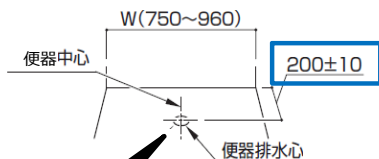
壁排水位置は、床から120mm（90～155mm）の位置になる

□ 高さ： \_\_\_\_\_ mm 対応範囲90～155mm

### 【床排水の場合】

#### 排水心200mmの場合

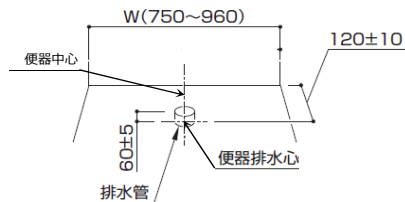
- ・排水管（VP・VU75）は床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。



- ・配管周囲10mmより外側の床を傷つけない傷の露出防止。
- ・排水心が前後にずれた場合、立ち上げなおす大便器の詰まり・器具と配管干渉のおそれがあります。

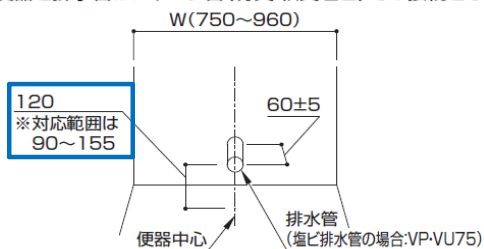
### 排水心120mmの場合

- ・排水管（VP・VU75）は床仕上げ面から60±5mmで立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。



### 【壁排水の場合】

- ・VP・VU100には接続できません。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・便器と排水管はジャバラ管（材質・軟質塩ビ）での接続となります。



## 6. 電気位置

コンセントの位置とタイプを確認ください。

※コンセントは、キャビネット内に隠蔽させますのでガイドの位置にあわせる。

### ■ 記入欄

コンセントは、タイプにより2口と4口タイプがありますので事前に確認する。

□コンセント位置（便器中心から）

幅： \_\_\_\_\_ mm 許容範囲95±5mm(2口コンセントの場合)  
※ 4口の場合は以下参照

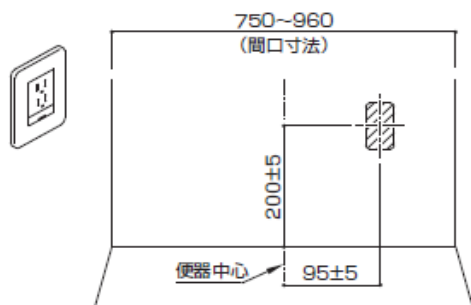
高さ： \_\_\_\_\_ mm 許容範囲200±5mm

- ・仕様条件より、表の該当するコンセント位置をご確認ください。
- ・コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

	やわらかフロアライトあり	やわらかフロアライトなし
一般地	①	①
寒冷地 流動方式	①	①
寒冷地 水抜方式	②	①

#### ①の場合

埋込アースターミナル付2口コンセントを取り付けてください。



#### ②の場合

埋込アースターミナル付4口コンセントを取り付けてください。

